



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月2日

上場会社名 株式会社百十四銀行 上場取引所 東
コード番号 8386 URL https://www.114bank.co.jp/
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 綾田 裕次郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 大島 雄一 (TEL) 087-836-2721
四半期報告書提出予定日 2024年2月5日 配当支払開始予定日 ー
特定取引勘定設置の有無 無
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	60,997	△8.9	10,984	△0.0	7,005	0.3
2023年3月期第3四半期	66,984	18.2	10,988	△24.9	6,987	△29.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 25,178百万円(ー%) 2023年3月期第3四半期 △15,639百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	243.91	243.85
2023年3月期第3四半期	239.98	239.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,763,285	303,387	5.3
2023年3月期	5,809,359	281,098	4.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 303,366百万円 2023年3月期 281,077百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	35.00	ー	40.00	75.00
2024年3月期	ー	35.00	ー	ー	ー
2024年3月期(予想)	ー	ー	ー	45.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△5.8	12,000	△9.7	7,500	△18.2	262.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	28,790,000株	2023年3月期	29,100,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	233,635株	2023年3月期	180,626株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	28,719,942株	2023年3月期3Q	29,114,536株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1) 経営成績に関する説明2
- (2) 財政状態に関する説明2
- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

- (1) 四半期連結貸借対照表3
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書5
- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項7
 - (継続企業の前提に関する注記)7
 - (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)7
 - (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)7

※ 2024年3月期 第3四半期決算 補足説明資料

- 1. 2024年3月期 第3四半期累計期間の損益状況(単体)8
- 2. 預金等・預り資産の状況(単体)9
- 3. 貸出金の状況(単体)9
- 4. 金融再生法開示債権の状況(単体)10
- 5. その他有価証券の評価差額(単体)11
- 6. 自己資本比率(国内基準)12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経常収益は、金融派生商品収益及び外国為替売買益の減少によるその他業務収益の減少などにより、前第3四半期連結累計期間比59億87百万円減少して609億97百万円となりました。

また、経常費用は、国債等債券売却損の減少によるその他業務費用の減少などにより、前第3四半期連結累計期間比59億83百万円減少して500億13百万円となりました。

この結果、経常利益は、前第3四半期連結累計期間比4百万円減少して109億84百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間比18百万円増加して70億5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、預け金の減少などにより、前連結会計年度末比460億円減少して5兆7,632億円となりました。また負債は、預金の減少などにより、前連結会計年度末比683億円減少して5兆4,598億円となりました。

なお純資産は、前連結会計年度末比222億円増加して3,033億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月11日に公表しました、2024年3月期通期の業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております2024年3月期通期の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
現金預け金	1,197,854	995,861
コールローン及び買入手形	—	1,914
買入金銭債権	34,950	42,312
商品有価証券	9	—
有価証券	1,044,665	1,128,772
貸出金	3,362,245	3,435,379
外国為替	19,938	4,896
リース債権及びリース投資資産	18,677	18,072
その他資産	70,679	72,311
有形固定資産	36,867	37,358
無形固定資産	4,406	4,610
退職給付に係る資産	15,948	16,669
繰延税金資産	732	731
支払承諾見返	19,898	21,249
貸倒引当金	△17,514	△16,855
資産の部合計	5,809,359	5,763,285
負債の部		
預金	4,696,403	4,634,722
譲渡性預金	84,267	88,794
コールマネー及び売渡手形	20,360	18,715
借入金	624,432	594,446
外国為替	248	645
その他負債	73,773	84,543
役員賞与引当金	49	—
退職給付に係る負債	248	270
役員退職慰労引当金	38	36
睡眠預金払戻損失引当金	163	121
偶発損失引当金	69	102
株式報酬引当金	181	200
繰延税金負債	3,048	11,003
再評価に係る繰延税金負債	5,077	5,044
支払承諾	19,898	21,249
負債の部合計	5,528,260	5,459,897

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
資本金	37,322	37,322
資本剰余金	30,486	30,486
利益剰余金	187,908	192,126
自己株式	△513	△568
株主資本合計	255,204	259,367
その他有価証券評価差額金	14,669	33,449
繰延ヘッジ損益	138	△60
土地再評価差額金	7,952	7,904
退職給付に係る調整累計額	3,113	2,705
その他の包括利益累計額合計	25,873	43,999
新株予約権	21	21
純資産の部合計	281,098	303,387
負債及び純資産の部合計	5,809,359	5,763,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
経常収益	66,984	60,997
資金運用収益	35,862	38,521
(うち貸出金利息)	23,813	28,788
(うち有価証券利息配当金)	11,018	8,640
信託報酬	0	0
役務取引等収益	9,147	9,120
その他業務収益	12,387	4,038
その他経常収益	9,587	9,316
経常費用	55,996	50,013
資金調達費用	4,932	10,660
(うち預金利息)	2,139	3,801
役務取引等費用	2,517	2,653
その他業務費用	16,665	4,813
営業経費	25,538	24,975
その他経常費用	6,342	6,910
経常利益	10,988	10,984
特別利益	39	27
固定資産処分益	39	27
特別損失	104	219
固定資産処分損	72	51
減損損失	32	167
税金等調整前四半期純利益	10,923	10,792
法人税等	3,936	3,787
四半期純利益	6,987	7,005
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,987	7,005

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
四半期純利益	6,987	7,005
その他の包括利益	△22,626	18,173
その他有価証券評価差額金	△20,058	18,780
繰延ヘッジ損益	△2,649	△198
退職給付に係る調整額	80	△408
四半期包括利益	△15,639	25,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,639	25,178

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

2024年3月期 第3四半期決算 補足説明資料

1. 2024年3月期 第3四半期累計期間の損益状況（単体）

2024年3月期第3四半期累計期間の経常収益は、金融派生商品収益及び外国為替売買益の減少によるその他業務収益の減少などにより、前年同期比55億23百万円減少して548億7百万円となりました。
 コア業務純益は、外貨調達費用の増加などによる資金利益の減少及びその他業務利益（除く債券関係損益）の減少などにより、前年同期比114億9百万円減少して129億5百万円となりました。
 経常利益は、コア業務純益は減少しましたが、債券関係損益が改善したことなどにより、前年同期比37百万円増加して100億93百万円となりました。
 四半期純利益は、前年同期比30百万円増加して65億91百万円となりました。

（単位：百万円）

	2023年3月期 第3四半期 (A)	2024年3月期 第3四半期 (B)	2024年3月期		2024年3月期 業績予想
			前年同期比 (B)-(A)	増減率(%)	
経常収益	60,330	54,807	△ 5,523	△ 9.2	70,500
コア業務粗利益 ①	48,219	36,880	△ 11,339	△ 23.5	
資金利益	31,174	28,005	△ 3,169	△ 10.2	
役務取引等利益	5,025	4,859	△ 166	△ 3.3	
その他業務利益(除く債券関係損益)	12,019	4,015	△ 8,004	△ 66.6	
経費 ②	23,905	23,974	69	0.3	
コア業務純益 ①-②	24,314	12,905	△ 11,409	△ 46.9	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	20,892	11,754	△ 9,138	△ 43.7	
債券関係損益 ③	△ 16,298	△ 4,790	11,508	—	
実質業務純益 ①-②+③	8,016	8,114	98	1.2	
一般貸倒引当金繰入額(注2) ④	△ 75	—	75	—	
業務純益 ①-②+③-④	8,092	8,114	22	0.3	
臨時損益	1,964	1,978	14	0.7	
不良債権処理費用 ⑤	1,489	1,209	△ 280	△ 18.8	
うち貸出金償却	1,358	1,043	△ 315	△ 23.2	
うち個別貸倒引当金繰入額(注2)	102	—	△ 102	—	
貸倒引当金戻入益(注2) ⑥	—	405	405	—	
償却債権取立益 ⑦	250	365	115	46.0	
株式等関係損益 ⑧	2,928	1,488	△ 1,440	△ 49.2	
その他臨時損益	274	929	655	239.1	
経常利益	10,056	10,093	37	0.4	11,000
特別損益	△ 78	△ 202	△ 124	—	
法人税等合計	3,415	3,300	△ 115	△ 3.4	
四半期純利益	6,561	6,591	30	0.5	7,000
有価証券関係損益 ③+⑧	△ 13,369	△ 3,301	10,068	—	
与信関係費用 ④+⑤-⑥-⑦	1,163	438	△ 725	△ 62.3	

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2024年3月期第3四半期は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

2. 預金等・預り資産の状況（単体）

当第3四半期末の預金等残高は、個人預金は増加しましたが、法人及び公共預金が減少したことにより、前年度末比570億円減少して4兆7,388億円となりました。

また、当第3四半期末の預り資産残高は、金融商品仲介は減少しましたが、一時払保険及び投資信託が増加したことにより、前年度末比43億円増加して3,344億円となりました。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)	
	2023年12月末	2022年12月末比	2023年3月末比		2022年12月末	2023年3月末
預金等(注)	47,388	520	△570		46,867	47,958
個人	27,199	166	346		27,032	26,852
法人	18,712	382	△835		18,330	19,548
公共	1,476	△28	△81		1,504	1,557

(注) 預金等とは、預金及び譲渡性預金であります。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)	
	2023年12月末	2022年12月末比	2023年3月末比		2022年12月末	2023年3月末
預り資産(注)	3,344	129	43		3,215	3,301
投資信託	1,081	127	75		953	1,005
一時払保険	2,026	326	288		1,700	1,738
金融商品仲介	236	△323	△320		560	557

(注) 預り資産は、各期末日における時価ベースの残高であります。

3. 貸出金の状況（単体）

当第3四半期末の貸出金残高は、公共向け貸出金が減少しましたが、法人向け及び個人向け貸出金が増加したことにより、前年度末比714億円増加して3兆4,382億円となりました。

また、当第3四半期末の中小企業等貸出金残高は、前年度末比840億円増加して2兆4,476億円となりました。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)	
	2023年12月末	2022年12月末比	2023年3月末比		2022年12月末	2023年3月末
貸出金	34,382	184	714		34,197	33,668
個人向け貸出金	5,967	115	48		5,851	5,919
うち住宅ローン	5,664	94	41		5,570	5,622
法人向け貸出金(注1)	25,787	962	1,291		24,825	24,496
公共向け貸出金	2,627	△893	△624		3,520	3,252
中小企業等貸出金(注2)	24,476	931	840		23,545	23,636
中小企業等貸出金比率	71.18%	2.34pt	0.98pt		68.84%	70.20%
信用保証協会保証付貸出金	1,788	△16	△30		1,805	1,819

(注) 1. 法人向け貸出金には、個人事業主向け貸出金を含めております。

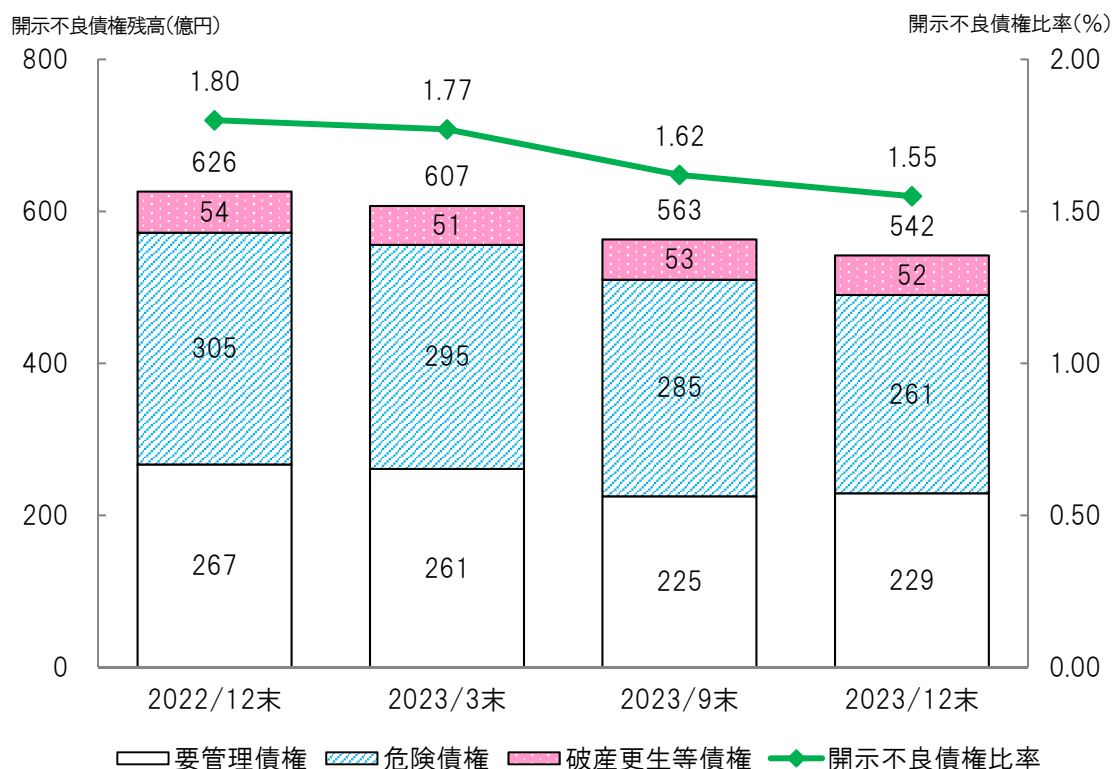
2. 中小企業等貸出金とは、中小企業及び個人向け貸出金であります。

4. 金融再生法開示債権の状況（単体）

不良債権に対しては、お取引先の経営支援に積極的に取り組みつつ、担保及び貸倒引当金により適正かつ十分な対応を行っております。

当第3四半期末の金融再生法開示基準による不良債権残高は、前年度末比 65 億円減少して 542 億円となりました。また、総与信残高に占める開示不良債権比率は、前年度末比 0.22 ポイント低下して 1.55% となりました。

金融再生法開示債権	(単位：億円) 【参考】			(単位：億円)	
	2023年12月末	2022年12月末比	2023年3月末比	2022年12月末	2023年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	52	△ 2	1	54	51
危険債権	261	△ 44	△ 34	305	295
要管理債権	229	△ 38	△ 32	267	261
開示不良債権合計	542	△ 84	△ 65	626	607
正常債権	34,304	233	769	34,071	33,535
総与信残高	34,846	149	705	34,697	34,141
開示不良債権比率	1.55%	△ 0.25pt	△ 0.22pt	1.80%	1.77%



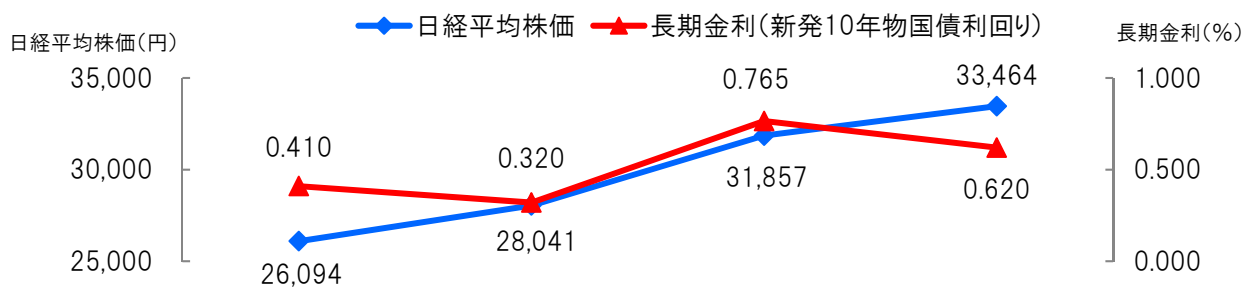
5. その他有価証券の評価差額（単体）

当第3四半期末の「その他有価証券」の評価差額は、前年度末比 268 億円増加して 471 億円となりました。

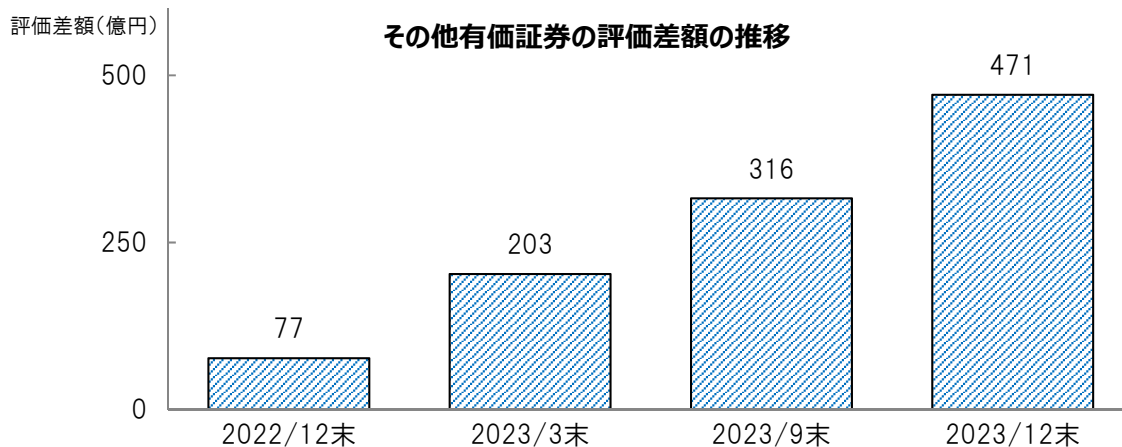
	2023年12月末					2022年12月末		2023年3月末			
	評価差額					評価差額		評価差額			
	2022年 12月末比	2023年 3月末比	うち益	うち損		うち益	うち損	うち益	うち損		
その他有価証券	471	394	268	805	334	77	523	445	203	573	370
株式	779	282	230	790	11	496	513	16	549	567	18
債券	△156	68	△11	0	157	△225	1	226	△144	2	147
その他	△151	42	49	14	165	△194	8	202	△200	3	204

(注)「その他有価証券」は、時価評価しておりますので、評価差額は、貸借対照表価額と取得原価との差額を計上しております。

【参考】日経平均株価と長期金利の推移



その他有価証券の評価差額の推移



6. 自己資本比率（国内基準）

2023年12月末基準の連結自己資本比率（国内基準）は、前年度末比0.08ポイント低下して9.02%となりました。

(1) 連結自己資本比率（国内基準）

	(単位：億円)			【参考】 (単位：億円)	
	2023年12月末	2022年12月末比	2023年3月末比	2022年12月末	2023年3月末
①連結自己資本比率(②/③) (注1)	9.02%	△ 0.00pt	△ 0.08pt	9.02%	9.10%
②連結における自己資本の額	2,573	49	54	2,524	2,519
③リスク・アセットの額 (注2)	28,507	549	840	27,957	27,666
④連結総所要自己資本額	1,140	21	33	1,118	1,106

(2) 単体自己資本比率（国内基準）

	(単位：億円)			【参考】 (単位：億円)	
	2023年12月末	2022年12月末比	2023年3月末比	2022年12月末	2023年3月末
①自己資本比率(②/③) (注1)	8.52%	△ 0.02pt	△ 0.08pt	8.54%	8.60%
②単体における自己資本の額	2,409	40	49	2,369	2,359
③リスク・アセットの額 (注2)	28,254	531	819	27,722	27,434
④単体総所要自己資本額	1,130	21	32	1,108	1,097

(注) 1. 自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（2006年金融庁告示第19号）に定められた算式に基づき算出しております。なお、当行は国内基準を適用しております。

2. 信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。